

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
011-241-5161(直通) 011-232-5147(FAX)  
<http://www.doshakyo.org/>

第151号

# 第70回記念写真道展

## 盛況のうちに終わる

来場者1500人を超える

第70回記念写真道展は4月25日〜4月30日の期間札幌市民ギャラリー第1展示室、第2展示室において開催されました。コロナの脅威も少し薄れたこと、連休のはじめ、好天に恵まれたこともあり1500人以上の来場者を数え盛況のうち無事終了しました。また、作品集の会場売り上げも過去最高の60冊となりました。来場者から「これだけの作品を見られるのはさすが道展だね」、「審査会員・会友の全倍、全紙の作品はこの大きな会場にも負けていない。圧巻です」という声も聞かれました。



若林社長、中野会長の挨拶、清水審査委員長の総評に続いて大賞の野田功さんから表彰授与が始まり順調に行われ時間内に無事終了いたしました。今年が入賞・入選者の中に5名の視覚障害者の方も出席され幅の広い参加者の道が開られたと思っております。道新ホールの大舞台であることより関係者は何時もより少し緊張感が漂っていましたので多少行き届かない点もありましたがそれは次回の反省としていければと思っております。



### 表彰式無事終了

4月30日(日)午後1時より道新ホールにて開催されました。受章者は一般公募、学生、奨励賞、協会表彰120名、付き添い者、見学者、式場関係者80名ぐらいのおよそ200名の参加者で毎年より多くの人が参加いたしました。

### 楽しかった講演会

第70回記念写真道展の目玉である清水哲朗氏による講演会「モンゴル取材25年の軌跡」は表彰式に引き続き道新ホールで14時45分から行われました。参加者は200人以上でした。写真を始めるきっかけ、ユキヒョウに魅せられてモンゴルに行き始めたこと、そしてモンゴルの文化・生活に興味を抱いてまだまだこれからも行きたいと思っている事など楽しく話されました。学校の先生でしたが10名位の学生を連れて熱心に聞かれているのが印象的でした。参加者の中には「モンゴルに近々モンゴルに旅行に行くので参考のために来ました」と言う方も熱心に聞いていてとても面白かったとの声でした。清水先生の方も今回特別に映像を1本余分に入れて来る力の人れようでした。1時間半の時間でしたがあつという間に終わった感じでした。



# 第70回記念写真道展審査会報告

審査委員会は道新本社特別会議室にて、3月4日(土)5日(日)の両日に実施されました。

審査委員長には写真家清水哲朗氏をお招きし、道新写真部長西村昌晃氏、隔年グループA班に田澤康史氏、阿部三重子氏、伊藤勝利氏の新審査員を加えた総勢18名の審査委員と進行係7名のメンバーで実施し予定通りの日程で無事終了できましたことを報告いたします。

## 応募状況

今回は全国応募を実施しましたが他県などからの応募は1件にとどまりました。

しかし、応募者・作品数共に昨年を上回りました。応募作品合計3789点で昨年の10%アップ。応募人数合計681人で昨年の7%アップという結果でした。

## 審査1日目

審査委員長を除く17名による選考で1部〜3部の審査を実施し一人1作品に絞り込みました。

次に第4部選考で最優秀賞は旭川北高校村椿紬音さんの「生きた証」を優秀賞には浦河高校の小林愛花さん、北広島高校の向山晃太さん、李ハンナさん、札幌啓成高校の羽生智俊さん、八木大空さんを選び1日目の審査を終了

しました。

## 審査2日目

審査委員長の清水哲朗氏を迎えての審査で、昨日選ばれた1部〜3部の作品を審査委員長が慎重且つスムーズに選考され、入選・入賞作品が決定されました。

1部文部科学大臣賞には野田功さんの「警戒」、2部国土交通大臣賞には木村克己さんの「湿原・列車」、3部環境大臣賞には岩間敦子さんの「飛んだ!」に決定。写真道展大賞は1部の野田功さんの「警戒」が選ばれました。

次に会友奨励賞選考を全審査委員の参加で実施し、49点の中から千歳支部の西澤寛さん「痕跡」、旭川支部の白鳥敏昭さん「風雪模様」、札幌支部の難波江さん「母への想い」、岩見沢支

部の中神由美子さん「流れのままに」、室蘭支部の斎藤ますみさん「青の主調」が選ばれました。最後に審査員の皆様2日間ご苦勞様でした。



(第70回記念写真道展審査係 中西勉 記)

## 会友奨励賞を受賞して



恵庭支部  
西澤 寛

### 「痕跡」思い出を乗せた路

この度は、第70回記念写真道展の開催、おめでとうございます。

この作品は、一昨年に廃線となった新冠町の旧大狩部駅で撮影したものです。

昭和12年の開業から、平成27年の高波被害で運行休止となるまでは、人々を運ぶために列車はこの路を走り続けていました。

撮影は昨年の8月なので、わずか7年でここまで朽ちてしまうのか、と自然の力を感じています。

この変わり行く風景を残せるのはカメラだけです。

先日、世界的な写真コンテストで、AI作品が入賞したと話題になりました。確かにAI技術は優れているので、目を引く作品はいくらでも作れます。しかし、そこには思い出も時代背景もありません。

今回の写真も、単なる作品としてではなく、かつてこの場所を行き交った人々の生活に思いを馳せながら見ると、深みのある写真になるのではないのでしょうか。

実在する物の「記録」というカメラの原点を忘れずに、これからも作品づくりをしていこうと思います。





旭川支部  
白鳥 敏昭

道写協に入会以来20年がたち、道展に初入選した時の感動が忘れられず、ただひたすらシャッターを切り続けて来た時代を思い起こすと、今回、会友奨励賞を受賞出来ました事は本当に信じられない喜びです。先生方や諸先輩の皆様のおかげと感謝申し上げます。ここに至るまでの道のりは自分には容易いものではなく、息を切らせて山を登り、また色々な場面に出会って感動を受け、挑戦しては自分のイメージとは異なり挫折を味わって来ました。「写真は文字の無い文学」との先生の言葉思い直した時、光は景色を作るが光無き暗黒の世界もまた一つの景色。子供は可愛く、女性は美しく、男性はたくましくをモットーに工夫への挑戦を続け、新たな表現の世界に一步踏み出せる気がします。まだまだ未熟ではありますが、今後とも皆様と共に研鑽し勉強を重ねて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。



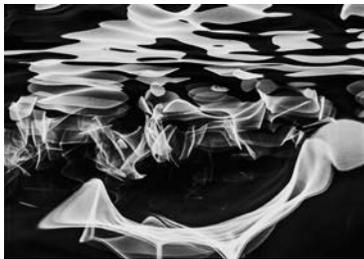
札幌支部  
難波 江

写真道展には初応募(第59回)以来、毎年応募を続けてきましたが、今回、会友奨励賞という予期せぬ評価をいただき、驚きと喜びに加えて、何よりも支えてくれた師と友への感謝の気持ちで一杯です。老後の楽しみにと高齢になって再開した写真、ジャンルも定めず、確たる作画意図も持たずに、見たまま、感ずるままにシャッターを押し続けてきましたが、一時は、思い通りの写真が撮れないことへの焦り、失敗の繰り返し、体力の衰えによる撮影中の転倒や機材の破損など、楽しいはずの写真撮影が苦しみを感じることもありました。今回の受賞は、道展入選というささやかなご褒美を励みに、諦めずに撮影や応募を続けてきたことに、写真の神様が微笑んでくれたものと思います。今後も、体力が許す限り、自己満足型ですが、好きな写真を撮り続けたいと思います。



岩見沢支部  
中神由美子

コロナの猛威に忙殺され、なかなか撮影できずにいましたが年明け久しぶりに近くの川へ出かけてみました。期待の氷は全然ありませんでしたがとりあえず撮影開始。曇り空も幸いし柔らかい光の中で様々な模様を作り出してくれる水の流れを追いかけてみました。お散歩の方(そんなところで何をしているの?)写真です(何かいるのかい?)「いえちよつと水を写してました(???)」いつものことですが変わった人だと思われてもさして気にせずです。流れのままにあれこれ写してデジタルは便利だな、と思いながら束の間のリフレッシュでした。コロナの終息を願いつつ皆さんもどんどん撮影して楽しく日々を過ごしましょう! 会友奨励賞ありがとうございます。ごさいます。



室蘭支部  
齋藤ますみ

いつもは地元、室蘭での写真活動が多い私です。しかし今回、会友奨励賞を受賞した作品は、オール室蘭ロケの映画『モルエラ二の霧の中』の試写会が市外であり、単身1泊2日、小旅行時のものでした。ほぼカメラと三脚しか持たずに家を出ました。家を出る理由は「試写会」でしたが、目的は「写真撮影」となっている自分に気がつき、もはや写真は私の生活の一部なのだと思い知らされました。久しぶりの自由時間でしたのに現地は雨。当惑していた私の目にスクラブル交差点の風景が目飛び込んできました。白黒の横断歩道に赤や青の傘が舞う。咄嗟に面白い!と思ひ、流し撮りで3時間粘りました。写真は常に「面白い!」と感じたものを撮る私です。自分の感性を信じて直走ります。家事や育児、仕事などに追われ、なかなか撮影時間がとれませんが、家族や仕事があつてこそ写真活動。これからも家庭、仕事と写真の両立を目指しながら写真道を極めていきたいと思ひます。



# 第70回記念写真道展入賞の喜びの声

1部2席



留萌支部

出口 慎也

70回記念という歴史的な節目に北海道知事賞を受賞した事は自分の経歴において、とても大きな荣誉であると感じております。

それと同時に自分の作品には大きな可能性を秘めていると実感しました。3月に吉報を頂いた時はその事実ししばらく思考が停止してしまいました。

そして壇上で賞状を頂いた時に、「自分は本当に受賞したんだ」と、ようやく実感しました。

述べたい事は山ほどありますが、ひとまずはこの場をお借りして写真に関わる全ての皆様に厚くお礼を申し上げます。

本当にありがとうございます。「機械仕掛けの花嫁」は、道北に位置する羽幌

炭鉱の薄暗い水溜まりを長時間露光撮影した物がベースとなっております。



り、そこに自身の思考を投影した物になります。

幼少の頃、失敗を恐れずに自身の思うままに画用紙に絵を描いた延長上が今日における自分の作品です。

これからも批評や失敗を気にする事なく、自分が思い、感じるがままに写真という作品を作り続けたいと思っております。

1部2席



帯広支部

伊藤 建夫

第70回記念道展1部2席を受賞して

この度、第70回記念道展の1部2席の受賞の思わぬ知らせに驚き、選んで頂いたことに感謝し喜んでおります。

私が写真を始めたのは16年前、長年連れ添った女房に先立たれ、落ち込んでいた時「写真をやらないか」と誘ってくれた友人の一言でした。それ以降、女房代わり

にカメラを携えて出かけ、景色や生き物などを写してきました。写



真を始めてからは、多くのカメラ仲間や先輩たちに教えを請い励まされて今日に至りました。

撮影の心情やモットーというほどのものは有りませんが、私の写真を見てくれた人が癒されたり喜んで頂けたらと考えております。

入賞した作品は息子一家と夏休みに道北の初山別村にキャンプに出かけた時のもので夕陽を見てはしゃいでいる孫たちの姿を見て思わずシャッターを切りました。

3部2席



恵庭支部

菅原 恵子

「うれしい初入賞」

以前は望遠レンズしか持っていないで、近寄って見る事ができない、レンズを通してしか見る事のできない世界に魅了され、写真を始めたのです。小鳥の健気な動きや動物の表情など、それが撮影できるレンズに夢中でした。

数年前、知り合いに誘われ写真協会恵庭支部に入会しました。入会後は先輩



方の影響を受け、何でも撮れるようにと様々な被写体に挑むようになりました。レンズも増える一方です。

そして、近年やと道展の各部で入選させて頂いておりましたが、今年なんと！考えもしなかった入賞の知らせにおどろきでした。しかも大好きな望遠レンズの世界(野鳥写真)での入賞でしたので、うれしさもひとしおです！

この賞を上げみに、これからも何にでも興味を持って、いろんな角度から被写体を見つめ、自分なりの写真を撮って行ければと思います。

最後になりましたが、支部の先輩方、そして会に誘って下さった今は亡き知人に感謝です。ありがとうございます。

3部2席



釧路支部

水野 敏幸

同写真展に応募して2回目に入賞の通知に驚いています。

写真を撮り始めてから10年が過ぎ、皆様方にきれいな写真を見ていただくことを心がけ撮り続けてきました。山歩きが好きで風景や動物を撮影してましたが、足元にきれいなきのこを見つけた写真を撮ってからとりに。きのこの撮影の難しさを実感し、毎

日カメラと三脚を背負って山に入り続けることに。

きのこを見つけては撮影に夢中になり時間を忘れてきのこの世界に。虫に刺されながら時に熊に間違われ怒られたことも、10年間きのこの写真を撮り続けてきました。

きのこをきれいに生き生きと写真を撮るにはどうしたらいいのか、今も混乱しながら撮り続けています。

身近にあるきのこ、きのこ目線でこの世界へ、皆様方もきのこの撮影をしながら豊かな自然の大切さを感じとってはいかがでしょうか。

これから皆様方にきのこのきれいな写真を見ていただけるように撮り続けます。



1部・2部・3部各3席



旭川支部

吉田清治郎

3部門 3席を受賞して

3月13日仕事から戻ると「写真道展」より封筒が届いており早速開封して驚きました。3部門入賞、画題を改めて確認したが間違いはない。こんなことってあるのだなとしばらく体の力が

抜けました。妻にその事を話すと「ホントヨカッター」と軽い返事、よく分かっていない。

旭川支部に入会して9年目に入りましたが、これまで例会・支部展・道展とその都度出品してきましたが、いつもその選択に悩み、きつかったこともありましたが、近年は、自分が好きで始めた写真なのだから、結果は考えないで目に留まったものを感じたままにシャッターを切ればいいと考えるようになりました。これからもその気持ちで趣味の写真を永く続けて行こうと思っています。

まもなく暖かくなってきましたので、カメラを肩に、自分だけの何かを探しに出かけたいと思います。ありがとうございました。

1部3席 2部3席



札幌支部

吉野 友昭

2部門 3席を受賞して

札幌支部に昨年の9月に入れていただいた吉野友昭と申します。北広島高



校の写真部顧問をされており、前任校は大麻高校でした。10年前に大麻高校に赴任した時に、赴任と同時に高体連札幌支部ソフトボール専門委員長になりました。学校からは、すでにソフト

ボールの顧問は2名いるので写真部の顧問も兼務して欲しいということになり、顧問になりました。最初の2年間は、名前だけの顧問で、写真の全道大会に引率した時に、生徒から部活をして欲しいと言われ、カメラを購入しました。それから写真教室に通い、写真にはまっています。

今年の道展第4部で、本校生徒は優秀賞(2席)を2名で昨年と同様な成績でした。2年前3年前は前任校で第4部の最優秀を2年連続受賞しました。私は、今年初めて3席を頂きましたが生徒には負けていますので、より一層精進、勉強したいと考えています。



1部3席



札幌支部

高橋あや子

私は一枚の写真を撮り終えプリントして終わりではありません。その写真からイメージを膨らませ絵作りをするのが好きです。

ですのでネイチャーは得意ではありません。毎月の札幌支部会では圧倒されるネイチャー写真を目の当りにし、自分の写真が浮いている様な場違いでもある様な気持ちになります。アインシュタインの「知識より想像力が大事である」と言う言葉があります。私は知識はありませんが想像力は人一倍あるのではと勝手に思い込んでいます。一枚の写真にイメージがどんどん湧き出て想像が膨らみ空想、時には妄想の世界に深入りしてしまします。シャッターを押す時の感動と、想像の自分の世界に没頭している自分がいます。

この度3席を頂き「あなたの好きな写真を撮りなさい」と言われた様でとても嬉しく励みとなりました。有難うございました。



3部3席



札幌支部  
栗木 敦子

3部3席を受賞して  
亡父の影響で写真を撮り始めてから3年程になります。今回の受賞は身に余る光栄で、驚きと共に大変恐縮しております。

この写真は根室市野付半島で撮影しました。壊れて陸に置かれていた漁船は、さながらキツネの秘密基地、枯れ草はベッドの様でした。その眠りを邪魔するように、近くを乗用車が走ったり、カラスが煩く鳴きながら飛び交ったり、鹿の群れが通り過ぎたりしました。

その度に、顔を響めて眠り続ける姿が何とも可愛らしく、鹿の後ろ姿と共に写真に収めました。「うるさくしないで」このキツネとレンズ越しに見守る私、両者の同じ願いを題名に選びました。道東は生まれ故郷ですが、写真を始めてから、魅力を再認識しました。今年もたくさん出かけたかと思っております。



3部3席



苫小牧支部  
佐々木 歩

「鹿しか」

カメラを首からぶら下げて夫婦でよく家の近所を散歩する。川辺を歩き裏山を目指して、あわよくばクマガイやキツネに会えたらと胸弾ませる。しかし：しかし。近年は鹿しか居ない。市中にも頻繁に鹿の集団が現れる。今年の雪解けには、ついに我が家の庭にも出没した。「仕方ない鹿でも撮るか」とカメラを向けると、「キュッ」と鳴いて逃げてしまうからメンコクナイ。

本当はスナップが好き。でも街中に人が少ない、マスクをしている、イベントが少ない状況下である。鹿を撮るしかないのでは？と、腹をくくって(?)訪れた樽前樹海に眠る口無沼。グラデーションカラーの木々の合間を縫って白い霧が流れ込んでくる。ふと、対岸を見ると静寂を破るように鹿が水しぶきをあげて渡っていた。仕方ないなどと言って申し訳ない。その光景は本当に美しかった。鹿さん。ありがとう。入賞したよ。



入選おめでとうございます

(敬称略)

入選者

○は入選部門

- 梅澤勇二①②③、板垣功①③、見野則幸①③、副馬雅之①③、松本雅彦①
- ②、飯高光紀①、林繁造①、落合英男①、片岡真弓③、高橋あや子③、吉野友昭③(以上札幌)、小山満①②③、池永靖子①③、岩淵隆①、浦島寛①、佐藤祐子①、森田正義①、宮野和子③(以上旭川)、一条周一①、小林好江②、二村かおり③(以上小樽)、渡部啓二①、阪内孝二②、八木橋修②、菊池幸子③(以上函館)、鳥海政史①②③、吉井良平①②③、山谷茂①③、太田秀樹①、尾形和雄③(以上室蘭)、岡内孝一郎①③、岩井郁美③、上口建作③(以上岩見沢)、山田重信①(滝川)、川上正己①③、柳谷明伸③(以上留萌)、神能俊行①②③、佐野ミヨ①③、吉村剛①(以上恵庭)、清水孝①②、宮澤龍彦①③、伊藤建夫③、小池隆③(以上帯広)、高橋米子②③、片平信之①、鈴木啓司郎①、山口良雄①、水野敏幸②、蛭名昇③、佐々木せつ子③(以上釧路)、石橋一彰①(根室)、谷内純哉①(三笠)、水谷晃①(中標津)、前川義幸②(平取)、黒田幸則③(栗山)、小館雅芳③(北見)、小林功男③(紋別)、野村秀樹③(オホーツク)

今後の事業日程

○第70回記念写真道展3回実行委員会(6月中旬予定)

○令和5年度北海道写真協会総会(7月中旬予定)

北海道写真協会表彰(敬称略)

第70回記念写真道展の表彰式と同時に北海道写真協会の表彰式も行われ左記の方が付則第4項の規定により表彰を受けました。おめでとうございます。

協会賞

加賀谷重雄(札幌)、大崎和雄(帯広)

功労賞

山本隆晟(札幌)、田本 實(旭川)、川原静雄(小樽)、中西 勉(室蘭)、休場慈満(帯広)、福澤英雄(中標津)、田澤康史(奈井江)、美濃英則(余市)、伊藤修身(三笠)、谷内純哉(三笠)、芳江 忍(函館)、高橋和幸(釧路)、崎出恒夫(留萌)、石川 隆(釧路)、西澤 實(恵庭)

感謝状

香取征子(札幌)、伊藤勝利(旭川)、白鳥敏昭(旭川)、吉仲 功(帯広)、清水 孝(帯広)、末田英憲(中標津)、

山田勝稔(奈井江)、一戸弘利(余市)、  
 金武紀雄(三笠)、高橋英昭(三笠)、  
 古平文男(三笠)、小池貞子(函館)、  
 松山浩司(函館)、荒木憲幸(函館)、  
 蛭名昇(釧路)

**札幌支部写真展開催**

札幌支部写真展が2023年3月16日(木)から3月21日(火)、道新ギャラリーにて特別会員、会員合わせて39点の作品で開催されました。



**支部例会成績**

旭川 支部長 白鳥敏昭

▽1月例会(12日 田本實審査会員選考)  
 (特選) ①白田忠雄②上平秀美③森田正義④岩淵隆⑤神原美幸(入選) 佐藤祐子・山本義則2点・池永靖子2点・吉田清治郎・小山満ほか

▽2月例会(9日 馬場和美審査会員選考)  
 (特選) ①吉田清治郎②上平秀美③佐藤祐子⑤白田忠雄(入選) 吉田清治郎・小山満2点・池永靖子・宮野和子ほか

▽3月例会(9日 田本實審査会員選考)  
 (特選) ①添田裕子②小山満③上平秀美④森田正義⑤池永靖子(入選) 小山満2点・上平秀美2点・佐藤祐子・神原美幸ほか



3月例会1位「家族を愛するテナガザル」カラー 添田裕子

▽4月例会(13日 田本實審査会員選考)  
 (特選) ①宮野和子②浦島寛③森田正義④佐藤祐子⑤白田忠雄(入選) 白田忠雄・池永靖子2点・神原美幸・岩淵隆・上平秀美ほか

▽5月例会(11日 中野潤子会長選考)  
 (特選) ①吉田清治郎②池永靖子③添田裕子④佐藤祐子⑤山本巖(入選) 添田裕子・山本義則・宮野和子2点・上平秀美・佐藤祐子ほか



5月例会1位「ショーウィンドウ」モノクロ 吉田清治郎

釧路 支部長 石川 隆

▽1月例会(12日 奥野時夫審査会員選考)  
 ①高橋米子②鈴木啓司郎③水野敏幸④長尾芳文⑤佐々木せつ子⑥山口良雄



1月例会1位「月輪」カラー 高橋米子

▽3月例会(2日 工藤二男審査会員選考)  
 ①蝦名昇②鈴木啓司郎③水野敏幸④佐々木せつ子⑤山口良雄⑥山本正裕

▽5月例会(11日 審査互選 高橋和幸 審査会員講評)  
 ①高橋米子②山本正裕③水野敏幸④蝦名昇⑤秋田誠⑥中嶋淳一 奨励賞・山口良雄

▽2022年度賞(5月11日表彰)  
 ①鈴木啓司郎②佐々木せつ子③蝦名昇④水野敏幸⑤橋本憲一

栗山 支部長 黒田幸則

▽2月例会(18日 審査互選)  
 ①黒田幸則②齋藤優子・黒田幸則③黒田幸則・中島武士・齋藤優子(入選) 齋藤優子・黒田幸則3点・中島武士2点

三 笠 支部長 伊藤修身

▽1月例会(27日 審査互選)  
 ①金武紀雄②金武紀雄・伊藤修身・古平文男2点  
 ▽令和4年度 年度賞  
 ①古平文男②金武紀雄③谷内純哉④伊藤修身⑤河合外志⑥高橋英昭

室 蘭 支部長 中西勉

▽11月例会(25日 山下智審査会員選考)  
 ①山谷茂②斎藤真澄2点③蒲野進・太田秀樹・鳥海政史(入選) 西村志げ子・牛田博克・川口公子・尾形和雄ほか  
 ▽2月例会(1日 中西勉審査会員選考)  
 ①成田正利②山谷茂・成田正利③太田秀樹・山谷茂・成田正利(入選) 鳥海政史2点・鳴海明3点・宮崎慎司・川口公子ほか

余 市 支部長 一戸弘利

▽3月例会(29日 審査互選)  
 ①斎藤真澄②鳴海明・斎藤真澄③牛田博克・成田正利・斎藤真澄(入選) 吉井良平2点・鳥海政史2点・山谷茂2点・西村志げ子ほか  
 ▽2月例会(4日 審査互選)  
 ①吉田金治①②石岡誠三②②③後藤芳江



2月例会1位「太陽の下で」  
カラー 吉田金治



3月例会1位「早春の羊蹄山」  
カラー 一戸弘利

札 幌 支部長 掛村一憲

▽12月例会(16日 山下智審査会員選考)  
 ①飯高光紀②米澤三千代③林繁造④掛村一憲⑤落合英男⑥吉野友昭⑦梅澤勇二⑧片岡眞弓⑨板垣功⑩府中紀一  
 ▽1月例会(20日 山本純一先生選考)  
 ①林繁造②見野則幸③落合英男④飯高光紀⑤副馬雅之⑥板垣功⑦脇田健司⑧寺嶋昭三⑨府中紀一⑩掛村一憲

▽3月例会(17日 西村昌晃写真部長選考)  
 ①梅澤勇二②林繁造③池田熙子④吉野友昭⑤府中紀一⑥脇田健司⑦寺嶋昭三⑧掛村一憲⑨板垣功⑩落合英男

▽4月例会(21日 中野潤子審査会員選考)  
 ①梅澤勇二②林繁造③寺嶋昭三④掛村一憲⑤池田熙子⑥飯高光紀⑦片岡眞弓⑧板垣功⑨吉野友昭⑩脇田健司



4月例会1位「眺めてこころはまる」  
カラー 梅澤勇二

第70回記念写真道展〜巡回展〜

- 5月16日〜25日 名寄市民文化センター
- 6月2日〜7日 室蘭市民美術館
- 6月14日〜18日 羽幌町立中央公民館
- 6月30日〜7月2日 苫小牧市文化交流センター
- 7月19日〜23日 釧路生涯学習センター
- 7月25日〜28日 別海中央公民館
- 8月10日〜12日 三笠市民会館
- 8月23日〜27日 旭川市民文化会館
- 9月20日〜24日 北網圏北見文化センター
- 11月23日〜26日 函館市芸術ホールギャラリー
- 12月16日〜1月14日 網走市立美術館

編集後記

第70回記念写真道展を無事終え、会報に入賞者の喜び等を発行することが出来ほつとしています。これから北海道は一番いい季節を迎えます。皆様が納得できる写真を撮れることを期待しています。

(田本、掛村)